

11. その他中心市街地の活性化のために必要な事項

[1] 基本事業に掲げる事業等の推進上の留意事項

(1) 個別事業等に関連した実践的・試行的活動の内容・結果等

○共通駐車サービス券システム事業

当該事業は平成12年から始まり、加盟駐車場のみならずコミュニティバスへの摘要もされていることから、平成24年の取り扱い枚数は当初の平成12年の取り扱い枚数と比較すると約80%増加しており、今後も継続していくこととし、その適用範囲の拡大についても検討をしていきます。

共通駐車サービス券の利用について



山口市中心商店街の加盟店ステッカーのあるお店で、2,000円以上お買い物いただくと加盟駐車場でご利用いただける共通駐車サービス券（1時間無料券）を差し上げます。お会計の際に、駐車場入庫券をご提示の上、お気軽にお求めください。

また、バスをご利用の方も、共通駐車サービス券（1時間無料券）が、山口市コミュニティバス乗車券としてご利用いただけます。加盟店で2,000円以上お買い物いただいた際に、バス発行の乗車証明書をご提示の上、共通駐車サービス券をお求めください。この共通駐車サービス券1枚につき100円割引で山口市コミュニティバスにご乗車いただけます。

共通駐車サービス券取り扱い枚数の推移

区 分	枚 数
平成12年	499,659
平成13年	665,895
平成14年	619,517
平成15年	632,664
平成16年	735,480
平成17年	785,437
平成18年	765,865
平成19年	763,727
平成20年	835,191
平成21年	851,931
平成22年	878,710
平成23年	886,318
平成24年	902,984

○空き店舗対策（あきないのまち支援事業、まちなかサポートセンター事業等）

平成25年1月～2月に実施した「山口市の中心市街地に関するアンケート」・「山口市のまちなか（中心市街地）居住者のアンケート」の両調査結果から、今後中心市街地の活性化に必要な取り組みとしては「空き店舗対策」を望む声が一番強く、「新しい店の導入、業種転換」の声も上位にあることから、市としても空き店舗対策については関係者間で連携を図りながら重点的に進めていくこととします。

○山口駅前地区住宅市街地総合整備事業

平成25年1月～2月に実施した「山口市のまちなか（中心市街地）居住者のアンケート」調査結果からは、車利用のしやすさや歩行者の通行環境や火災時の延焼、地震時の建物倒壊等の安全性についての評価が低く、密集市街地の解消が大きな課題となっている状況から、住民自治会や権利者等の意見をいただきながら当該事業を進めていくことで将来的には課題の解消に繋げていくこととします。

〔2〕都市計画等との調和

（1）市町村の合併の特例に関する法律第3条に基づく市町村建設計画との整合

1市1町合併協議会が、平成22年1月に策定した「新県都のまちづくり計画」（新市建設計画）において、広域県央中核都市の創造のため、山口都市核機能強化プロジェクトとして中心市街地の活性化を位置付けています。

山口都市核については、行政、文化、商業等の機能強化を通じて多様な人々の文化的、都市的生活を支えることのできる文化交流拠点を形成していくこととしており、湯田温泉や山口情報芸術センター、大内文化といった資源とあいまって、都市と自然が調和した質の高い都市空間を構築していくこととしています。

（2）山口市総合計画との整合（平成20年度～平成29年度）

「ひと、まち、歴史と自然が輝く交流と創造のまち山口」をめざすまちの姿とし、「協働によるまちづくり」と「広域県央中核都市の創造」を政策の柱に、市民と行政が協働してまちづくりを実践するための仕組みづくりや都市としての活力、求心力を強化するための都市核づくりなど、総合計画の体系に沿ったまちづくりを進めてきました。

また、後期まちづくり計画（平成25年度～29年度）において、重点戦略「広域県央中核都市づくり」に取り組むとして、山口都市核の高次都市機能の強化、経済産業基盤の整備の中で中心市街地の活性化を位置付けています。

（3）山口市都市計画マスタープランとの整合（平成24年3月策定）

将来都市構造を「重層的集約型環境共生都市」とし、現在の土地利用や都市機能等の配置などに配慮しながら都市づくりを進めています。

中心市街地を含む白石地域については、高次都市機能が集積した活力ある山口都市拠点の形成のため、JR山口駅を中心に公共交通結節機能を強化し、広域的な求心力を高め、多くの人が集まり、にぎわいと活力のある中心市街地の形成、また、高次都市機能の集積・誘導を図り、文化的交流などの都市活動が営まれる都市拠点の形成を図ることを目標としています。

（4）山口・小郡都市核づくりマスタープラン（平成20年8月策定）

「広域県央中核都市」の創造のため、その核となる山口・小郡都市核の広域的な求心力・拠点性の向上を通じたにぎわいの創出に向け、現状や課題、基本的な整備計画等を明らかにするものです。山口都市核内における中心市街地については、次のような取組みにより、にぎわいを創出し、拠点性の向上を図っていくこととしています。

- ・ 亀山周辺ゾーンと中心商店街ゾーンの一体性の促進
- ・ 中心商店街の魅力向上
- ・ 街なか居住の促進
- ・ 交通アクセスと回遊性の向上